

平成 24年2月1日(水) 発行

道建協とうほく

No.47

発行 社団法人 日本道路建設業協会
東北支部 広報委員会



世界遺産 平泉毛越寺 浄土庭園大泉が池 (2011. 11. 12 撮影：小野)

目次

☆年頭所感	早稲田高茂支部長	1
☆行事報告	2
☆随想	宮村博三安全環境委員長 . . .	12
☆会員だより	日建工業株式会社	13
	北川ヒューテック株東北支店 . . .	14

年 頭 所 感



支部長 早 稲 田 高 茂

支部会員の皆様には、未曾有の悲しみと苦しさをもたらした東日本大震災で無我夢中のまま平成23年が終わり、復興元年といわれる24年の新春を心新たに迎えられたことと思います。ご家族、ご友人との関わり、ふれあいを今まで以上に強く感じながら、行く年を送り、新しい年を迎えられた方が多かったのではないのでしょうか。一方で被災しなかった地域では予算の凍結・縮小、工事発注の遅れなど震災の2次被害ともいべき影響で、大変厳しい一年であったとの声が多く聞かれました。

多くの犠牲者、被災者を出した大震災は、地域にも私達の心にも大きな傷跡を残しました。そのような公私共に大変な状況のなか、協会としての被災者支援活動に対する並々ならぬご協力、また寝食を惜しんで地域の復旧に取り組まれた会員皆様のご努力にあらためて心より感謝と敬意を表します。

さて昨年の協会運営ですが、12月に支部活動の大きな節目である委員会活動報告会も開催できました。本部と東北地方整備局との意見交換会が正副会長・専務理事による局長以下幹部への表敬のみとなるなど、一部の事業が中止・延期となりましたが、各委員会の活動はもとよ

り、実質今年度からの新規事業として始めました「舗装施工管理者資格試験制度」や「アスファルト混合物事前審査」も順調に推移、また震災復興に関連し関係機関と意見交換を行なうなどほとんどの事業活動は初期の目的を果たすことができました。あらためて会員各位ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

また大震災の後、災害時の避難路としてまた救援支援物資の輸送路として道路が果たした「命の道」としての役割が大きく評価されました。私達は、地域の安心・安全を担保しなければならないという声が多く悲しみや苦しみから沸きあがったことを真摯に受け止め、その声を風化させることなく早急に道路ネットワークの実現に取り組むことが私達の使命であると思っています。

いよいよ本格的な復興が始まろうとしていますが、一方で人手や資機材不足や価格の高騰といった課題も顕在化してきています。これらの課題を克服し、会員一社一社、一人一人が被災者としての悲しみや苦しみを共有し、地域の復興・再生へむけて全力で邁進する年にしましょう。今年も、なにとぞ皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

I. 行 事 報 告

「AED」を被災地・道の駅に寄贈

- ①11月9日（水） 道の駅「よつくら港」（福島県いわき市四倉：国道6号）
- ②11月11日（金） 道の駅「さんりく」（岩手県大船渡市三陸町：国道45号）

道建協が全国的に実施している社会貢献活動「AEDを道の駅に寄贈する事業」は平成20年から始められ、昨年で東北6県、各県1箇所でも一回りしましたが、東北は配備されている道の駅が少ないので、今年も継続して実施することにしました。

今年は震災で被災した地域の復興を期す意味で、福島県いわき市の「よつくら港」、岩手県大船渡市「さんりく」を選定しました。

現地での贈呈に先立ち、10月12日、大塚広報委員長が東北地方整備局を訪れ、高橋交通対策課長、赤川道路情報管理官に、AED寄贈について報告し、協会の社会貢献活動について説明、PRを行いました。

道の駅「よつくら港」は、施設の至る所に津波の傷跡が残されたなか、交流館で「仮営業中」でした。開設時からあったAEDは津波で流失、駅舎の修理もこれからという状況下、駅長以下スタッフが再起に向け、日中の営業を再開していました。早稲田支部長から、道の駅を運営するNPO法人よつくらぶ佐藤理事長と白土駅長に、贈呈書及びAED本体が手渡され、その後、メーカー（フクダ電子㈱）担当者により、AEDの仕様の説明、取扱いのデモを行いました。佐藤理事長は「多くの人を訪れるので是非必要だった。とてもありがたい。」と話されていました。

道の駅「さんりく」は、三陸道・大船渡三陸道路の終点部の高台にあり、震災の被災もさほどではなく、平常通りに営業できているというお話でした。大塚広報委員長から駅長である三陸ふるさと振興㈱平田副社長に贈呈書及びAED本体が贈られ、平田駅長からは、「お客さまの安心につながる。普段から使い方をしっかり習得しておきたい」との謝辞がありました。その後の模擬訓練では、駅従業員からいろいろな質問が出され、担当者の説明を受けながら、本番に備え真剣に取り組んでいました。



（道の駅さんりく：贈呈・デモ状況）



お 礼 状

晩秋の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、先日は、当道の駅に AED 設置のため、大塚広報委員長様をはじめ関係の皆様方には何かとお忙しい中ご出席を賜り、寄贈式等を行っていただきましてまことにありがとうございました。

当駅には、これまで AED が設置されておらず、毎日多数のお客様方がおいでになる中で不安な面もございましたが、今後は万が一に備え速やかな救急救命活動が展開できるものと期待される所です。

あの大震災から早くも 8 か月以上が経過した現在、がれきの撤去など徐々には復旧の兆しが見えてきているところもありますが、住宅の再建や主力産業である漁業の復活などまだこれからの部分が多い状況にあります。

こうした中で、当社（駅）も微力ながら地域振興の一端を担って行きたいものと考えておりますので、今後とも引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

結びに、貴団体のますますのご発展と皆様方のご健勝をご祈念申し上げまして、お礼の挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

追伸

先日の寄贈式の様子が新聞（岩手日報）に掲載されましたので、そのコピーも同封いたします。

平成 23 年 11 月 21 日

(社) 日本道路建設業協会
東北支部長 早稲田 高 茂 様

三陸ふるさと振興株式会社
代表取締役 中 井 昭 樹
道の駅「さんりく」
駅 長 平 田 和多利



官民合同安全パトロール

日 時：平成 23 年 11 月 30 日（水）

対象工事：矢引地区舗装工事

（世紀東急工業株東北支店 施工）

（酒田河川国道事務所）

伊藤副所長、ほか 5 名

（道建協）

早稲田支部長、宮村安全環境委員長、

上河副委員長、委員 5 名

路上工事における事故防止について、より実践的な対策を講じることを目的に、安全環境委員会が取組んできた「官民合同安全パトロール」が、酒田河川国道事務所のご協力により実施されました。

当日はあいにくの小雨模様でしたが、温海～鶴岡間



では日沿道他工事が集中し、当工区も追込み時期でのなか、阿部現場代理人からの工事概要説明を受けた後、現場班と事務所班の2班に分かれて、点検リストをもとに実地点検しました。

その後の意見交換会では、点検結果に基づき、問題点などの指摘や良かった点などについて、各点検者から活発な意見が出されました。

安全環境委員会によるパトロール

安全環境委員会による23年度安全パトロールが10～12月にかけて実施されました。各工事創意工夫を凝らした安全対策を実施していました。竣工まで無事故無災害を！！



秋 田	10/25～26	大西幹事、委員（高木、須藤、菊池）		
		大道下地区舗装工事	東亜道路工業	大館市
		根下戸地区舗装工事	常盤工業	大館市
		根下戸新町地区舗装工事	ガイアート T・K	大館市
宮 城	11/25 12/6	早稲田支部長、委員（早坂、秋山、永澤、大谷）		
		石巻管内応急復旧その3工事	東京舗装工業	石巻市
		金ヶ瀬道路舗装工事	戸田道路	大河原町
		福室地区道路改良工事	日建工業	仙台市
山 形 ①	11/1～2	川内幹事長、上河副委員長、松谷幹事 委員（佐々木、伊藤勝、斎藤）		
		堅苔沢トンネル舗装工事	鹿島道路	鶴岡市
		中山地区舗装工事	日本道路	鶴岡市
山 形 ② 福 島	10/25～27	宮村委員長、大塚幹事、清水幹事、委員（鈴木、伊藤忠）		
		温海トンネル南第2舗装工事	大成ロテック	鶴岡市
		大岩川地区舗装工事	前田道路	鶴岡市
		玉川地区交差点改良工事	三井住建道路	いわき市
		西谷地地区道路改良舗装工事	佐藤渡辺	伊達郡

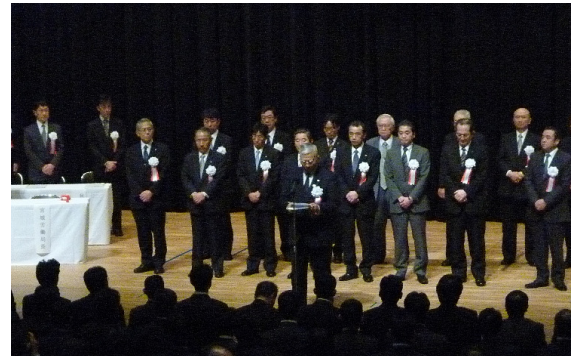
東北地方工事安全施工推進大会（SAFETY2011）

日 時 平成23年11月10日（木）

場 所 仙台市青年文化センター

主 催 東北地方整備局、東北6県、仙台市
NEXCO 東北支社。道建協ほか15業団体

出席者 約450名（道建協 17社 25人）



次 第

1. 黙とう
2. 主催者並びに来賓挨拶
3. 優良企業（現場代理人）表彰 60名
4. 現場事例紹介
 - ・ 優良企業（現場代理人）表彰代表 ㈱佐藤工務店 大和田弘光 様
 - ・ 東北建設業団体連合会 ㈱橋本店 佐々木光也 様
 - ・ (社)日本建設業連合会東北支部 鹿島建設㈱ 横山 正信 様
5. 決意表明

【会員関係：表彰】

- ・ 向中野道路舗装工事 松崎 真一（大林道路㈱東北支店）
- ・ 仙台西地区歩道工事 原田 紀彰（㈱ガイアートT・K東北支店）
- ・ 北四番丁大衡線（荒巻本沢工区）舗装新設工事 川名 敏明（日建工業㈱）
- ・ 宮ノ下高架橋下部工工事 菅野 勝正（仙建工業㈱）
- ・ 常磐自動車道 羽黒川橋（下部工）工事 水野谷正弘（堀江工業㈱）

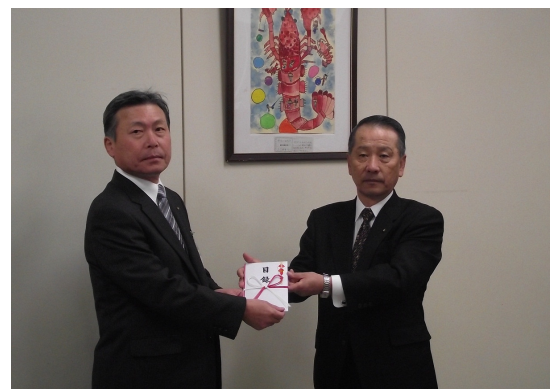
仙台市内の小中学校に「テント」を寄贈

協会社会貢献活動の一環として、日本大震災で被災した仙台市内の小中学校に「行事用テント」を寄贈することになり、12月6日 仙台市教育局において、贈呈式を行いました。

式では、早稲田支部長から仙台市教育委員会の青沼一民教育長に「行事用テント28張」贈呈の目録が手渡され、青沼教育長から次のような謝辞がありました。

「今回の震災で、市内の多くの学校で施設が損壊し、3校が津波で流され、10校が仮設の校舎で授業をしている。学校用具も不足しているの、地域の方々の集まりもあり、様々な使い方ができるのでありがたい。有効につかっていきたい」

テントは屋外行事用のもので、大きさ2間×3間で、横幕が3方+1方の取外しタイプで、震災支援時に調達した未使用品で、今回テント屋根に小中学校名を名入れして贈呈しました。



テント本体は12月21日に、事務局2名が下記14校に出向き、1校2張ずつ引渡しを済ませました。

西多賀小、将監小、将監西小、蒲町小、南光台小、折立小、中野小、
荒浜小、東六郷小、愛宕中、南光台東中、七北田中、西山中、高砂中

*「荒浜小学校」から礼状が届きましたので、掲載します。

平成23年12月28日

社団法人
日本道路建設業協会
東北支部 様

仙台市立荒浜小学校
校長 川村孝男

テントの御礼

ここ東宮城野地区にも空から白いものがちらほらと降って参りました。いよいよ冬本番を迎えました。

貴団体におかれましては、ますますご発展のこととお喜び申し上げます。

さて、今回、テント2張をいただきました。心から感謝申し上げます。

学校は、大きな行事ごとにテントを何張も必要といたします。9月に行った学校の運動会にもたくさんの方々がこられ、子供たちに声援を送っていただきました。荒浜小運動会は、地域と共に行う学区民運動会という形態を取っていました。学校の演技の間に、地区対抗（6つの町内会対抗）の種目もあり、テントの下で熱のこもった応援をしていた地域です。各地域ごとに自前のテントもあり、早朝より、校庭に張り出すそんな地域でした。

今回の津波によって、学校のテントはもちろん、地域住民の財産のテントも全て流され、大変困っていたところでした。今年は、近隣校よりお借りし、なんとか無事行えましたが、今回いただいたテントがあれば、運動会もよりスムーズに運営できそうです。

荒浜小学校は、去る11月26日学芸会を終え、ほっとしているところです。3月11日の震災当時は、実行が難しいと思われていた大きな二大行事（9月運動会、11月学芸会）を実施でき、職員一同心から喜んでいる次第です。

少しずつですが、確かな歩みを進めることができ、学校としても少し自信ができました。

学校の再建は、始まったばかりです。今後ともご支援よろしく願いいたします。



みんなでお礼の横断幕を作りました。



運動会で楽しく演技をしました。

平成23年度 委員会活動報告会

開催日 平成23年12月8日(木)

場 所 ホテル法華クラブ仙台 レインボーホール

参加者 会員 約90名

次 第

1) 早稲田支部長 挨拶 (要旨)

- ・震災支援活動に対する会員への御礼
- ・一部行事を除き、当初計画した年間活動については、概ね遂行することが出来た
- ・東日本大震災で経験したことを今後に生かすとともに、全国組織の支部として災害対応状況、対応策を記録にまとめ発信することが責務である。
- ・来年4月からの一般社団法人への移行に向け準備しており、支部運営の在り方も見直すことになるが、引続き協会へのご理解と協力をお願いしたい。



(写真提供：建設新聞社)

2) 委員会活動報告

①企画運営委員会 (川内 正 幹事長)

- ・緊急資機材支援活動への御礼と経過報告
- ・復旧・復興工事について

②広報委員会 (大塚 良孝 委員長)

- ・支部広報誌「道建協とうほく」の定期発行化
- ・道の駅へのAED寄贈(11月)、ロードレポーター活動
- ・仙台市小中学校への「行事用テント」の寄贈

③技術委員会 (石井 孝道 副委員長)

- ・NEXCO本復旧工事への対応について
- ・アスファルト合材事前審査制度について、

④公共工事委員会 (松谷 健一 委員長)

- ・東北地方整備局担当部との研究会(2月)
- ・コンクリート舗装の性能規定についての意見交換ほか

⑤安全環境委員会 (宮村 博三 委員長)

- ・安全環境講習会(10/13)、安全パトロール(10~11月)
- ・官民合同安全パトロール(11月)

⑥防災委員会 (近藤 雅孝 委員長)

- ・東日本大震災への対応について
- ・防災協定の見直しの検討経過について

講演会に先立ち、本部来賓として臨席された、横田耕治副会長兼専務理事より、今回の震災への対応、本部活動の概要についてご挨拶いただきました。



3) 講演会

講師は防災委員会から強い推薦があり、東日本大震災に際し最前線で対応に当たった当事者ということで、熊谷所長には遠路、ご多忙のなか大変ご無理をお願いし、ご承諾戴きました。講演会場内には、講話とセットで、東北地方整備局よりご提供の東日本震災対応のパネル約30枚が展示され、多くの出席者が目をこらし、当時を振り返っていました。

演 題：「東日本大震災」の対応について
～初期対応と復旧・復興に向けて～

講 師：国土交通省 東北地方整備局
郡山国道事務所長 熊谷 順子 様



現場にいた当人にしか話せない、生々しく印象深いお話で非常に内容の濃い時間でした。

(委員の感想)

大変有意義な講演でした。実感のこもったお話で、聴いていて、何度か涙が止まりませんでした。

熊谷所長のお話から道建協会員は、自分たちもあの「命の道」に携われたこと、社会（地域）に貢献できているのだということを改めて感じました。

懇親会でも、早稲田支部長からそのことを再確認するかのよう、道路の必要性和自分たちの役割についてのお話があり、全員が最善を尽くして社会のために頑張ろうという意識の向上が図られたと思います。是非、多くの場で語り継いでほしいと思っています。

引続き18時から同会場にて、年末懇親会が開催されました。一同会しての懇親会は一年振り、かなり話が弾んでいたようでした。



平成24年 安全祈願祭

日 時 平成24年1月23日（月）

場 所 櫻岡大神宮（仙台市青葉区西公園）

出席者 早稲田支部長、川内幹事長、宮村安全環境委員長、
上河副委員長、安全環境委員ほか 14名

早稲田支部長 記者会見要旨

- ・今年が復興元年ということで、絶対に事故を起こしてはならない。
- ・就労者数の減少に伴う高齢化や熟練工の減少といった建設業界の構造的な問題に加えて、復興工事に対応するために管外から作業員を呼ぶケースが増えるので、安全教育・管理方法もそれぞれに対応した取組みが必要である。
- ・今まで以上に仕事、人が増えるということはそれだけ危険のリスクが増えることから先取りした安全体制を徹底していきたい。



(写真提供：建設新聞社)

新会員紹介

1. 会員名 本間道路株式会社 仙台営業所
代表者 所長 伊藤 敏
住 所 〒980-0014
仙台市青葉区本町1丁目11-1 仙台グリーンプレイス5階
電話番号 022-222-5770 FAX 022-222-5278
2. 会員名 株式会社 加賀田組 東北支店
代表者 支店長 久保田 勝
住 所 〒983-0803
仙台市宮城野区小田原2丁目4-27 松月小田原ビル
電話番号 022-299-0080 FAX 022-299-0082

Ⅱ 対 外 活 動

(H23/11/1～)

1) 東日本高速道路(株)東北支社関係

東北支社管内本復旧工事についての意見交換会

日 時 平成23年11月24日(木)

場 所 東日本高速道路(株)東北支社

出席者 中村調査役ほか3名

浅田技術委員、藤永技術委員、事務局2名

施工会社からのアンケートをもとに、交通規制・廃材・施工他全般にわたり
確認・要望事項について話し合いました。

2) 後 援 行 事

23年度 道路講演会 (後援)

日 時 平成23年11月30日(水)

場 所 仙台市戦災復興記念館

講 演 「最近の道路の話題」

東北地方整備局 道路部長 川瀧 弘之 氏

「東日本大震災の対応と復興」

東北地方整備局長 徳山 日出男 氏

「東北地方太平洋沖地震の橋梁被災及び道路橋示方書改訂の動き」

橋梁委員会幹事 星隈 順一 氏

Ⅲ 幹 事 会 ・ 委 員 会 活 動

(H23/11/1～)

1) 幹 事 会

【第5回】

日 時：平成23年11月18日(金)

出席者：早稲田支部長、川内幹事長、幹事10名

(松谷、大塚、宮村、皆川、近藤、大西、清水、石井、菅野(代)、上河(代))

- 議 事： 1) 23年度上期実績について
2) 全国支部長・幹事長会議の報告
3) NEXCO 復旧工事アンケート結果について

【第6回】

日 時：平成24年1月23日(月)

出席者：早稲田支部長、川内幹事長、幹事10名

(菅野、松谷、大塚、宮村、皆川、上河、近藤(代)、大西(代)、清水(代)、石井(代))

- 議 事： 1) 入会・活動の概況(11/18 ～)
2) 官民合同安全パトロール結果報告
3) アスファルト合材事前審査制度・舗装試験について
4) 「行事用テント」の寄贈について
5) 建設資材の現況ヒアリング

2) 技 術 委 員 会

日 時：平成23年11月7日（水）

出席者：川内委員長、委員14名（佐藤力、高橋、林、稲辺、堂尻、
山本、清水、藤永、浅田、永澤、大山、河田、泉、本間）

議 事： 1) NEXCO 復旧工事アンケート結果の検討について
2) 今後の活動計画

3) 公共工事 委員会

日 時：平成24年1月26日（木）

出席者：松谷委員長、皆川副委員長、委員12名（佐藤力、山本、熊本、畑、
秋山、新田、網代、若狭、吉元、阿部、大山、佐々木）

議 事： 1) 東北地方整備局との研究会について
2) 本部議題について

(幹事会)

日 時：平成22年11月28日（月） 13：30～

出席者：佐藤力、山本、熊本、秋山、手塚、新田、網代、若狭、大山

議 事： 1) 東北地方整備局との研究会について
2) セメントコンクリート舗装の性能規定について
(技術委員：稲辺、藤永、浅田、永澤)

4) 防 災 委 員 会

日 時：平成23年11月22日（火）

出席者：近藤委員長、菅野副委員長、委員14名（相馬、鈴木、堂尻、石頭、新田
浪岡、網代、伊藤忠、井田、吉元、大泉、大山、坂上、小野寺）

議 事： 1) 委員会WGの経過報告
～東日本大震災への対応について の総括～

5) 広 報 委 員 会

日 時：平成23年11月24日（木）

出席者：大塚委員長、委員9名

(佐藤、村上、三上、竹内、三澤、木目澤、柴田、小野、宮本)

議 事： 1) AEDの寄贈報告
2) 広報誌「道建協とうほく」の発行状況

6) 安全環境 委員会

日 時：平成24年1月23日（月）

出席者：宮村委員長、上河副委員長、委員14名（須藤、伊藤、鈴木、
秋山、菊池、大谷、高橋、伊藤忠、高木、永澤、佐々木、早坂）

議 事： 1) 委員会活動の経過報告
2) 23年度安全パトロール点検結果一表彰推薦候補の選考
3) NEXCOパトロール(12/13)について

随 想



『 防災対策のすすめ 』

安全環境委員長 宮 村 博 三

(日本道路株式会社 東北支店)

地震だ！未だに、ちょっと揺れが始まると、大きな地震が来るのではないかと思ってしまうのは、私だけでは、ないのではないのでしょうか。

日本は、地形的にも地震、津波、台風、豪雨、竜巻、火山噴火等の自然災害の多い国で、その中でも世界の地震の約2割を占める地震大国として知られております。また、近い将来、大地震の発生が予想されており、地震はいつか必ず、しかもある日突然発生し、その脅威は凄まじいものがあります。

昨年の東日本大震災を通して学んだことは、もはや明治時代以降の災害をベースにした対応策が通用しないこと。そして、千年に一度の津波のために、少しでも高い堤防をと、ハード面の整備をするのは財政的にも無理があります。しかしながら、このたびの震災を契機として、個人及び企業などの防災意識は高まっており、私自身も、身近で出来る防災対策の必要性をひしひしと感じています。

わが社の東北支店も、昭和52年5月に4階建ての社屋を竣工し34年が経過し、震災直後に耐震検査をすると、東西の横揺れに弱い構造になっており、耐震補強工事が必要との診断を受けました。新年度には、耐震補強工事を行う予定にしております、まずは、職員が安全で安心して働ける職場環境を提供することが、不可欠な備えと考えております。

(平成24年1月記)

『震災雑感』

仙台工事事務所 国塚 準一

東日本大震災が発生してから、もう2ヶ月で一年になります。私は、震災直後の3月15日より現在まで、東北最大の物流基地である仙台港の夢メッセ・アクセル及び周辺臨港道路のがれき片付け作業や清掃作業の指揮を執っております。今回は、震災直後から現在までの仙台港付近の感想と変遷を、この冊子をお借りして発表したいと思います。

◎平成23年3月15日 現場は悲惨で津波の恐ろしさを痛感した日でした。

どこから着手すべきか、また、重機・燃料・作業員の手配はどのようにするかなどを熟慮し、とにかく明日からやれる限りがんばろうと自分自身に誓いをたてたことを思い出します。

周辺道路



夢メッセ



◎平成23年12月1日 現在

全体的には、片付け作業や清掃作業は完了していますが、今後の港湾施設や道路等の復旧には相当な費用と時間が必要だと思われます。

周辺道路



夢メッセ



・おわりに

未曾有の大災害の復旧は、確実に進んではいるものの、本当の復興はこれからです。今後もスピード感をもって復興のため作業に取り組んで行く覚悟です。

さらに、東北最大の物流基地である仙台港の復興は宮城県だけではなく、東北地域経済の復活にも影響しますので、今後の復旧工事に携わる各建設会社の皆様にもこの趣旨を十分に理解されまして、工事に臨んでもらいたいものだと思っております。

会員だより 北川ヒューテック(株)東北支店

『復興に向けて』

東北支店営業部 梅森 健 剛

昨年3月11日に発生しました「東日本大震災」により被災されました皆様には心より見舞い申し上げます。昨年は「東日本大震災」をはじめとして「台風12号」「集中豪雨」等、大きな自然災害がありました。

震災を昨年経験し、私にとっても今年のお正月はこれまでにない特別なものとなりました。昨年末に感動を覚えたことを述べたいと思います。

それは年末に行われた紅白歌合戦のことです。

私自身、紅白を通し初めて知りましたが、福島県出身の猪苗代湖ズの「I love you & I need you」が披露されました。ボーカルの「ふくしま！ふくしま！」絶叫するよう、故郷に捧げる歌う姿、他のメンバーも渾身の力を込めて演奏する姿に心を打たれました。

「I love・・・」は東日本大震災後に故郷・福島への恩返しのため結集した4人による復興応援歌で、しかも、収益の全額を義援金として寄付しているという事を聞きました。ただただ頭の下がる思いです。

年末年始は、家族全員で故郷へ帰省しました。父の体の具合が悪いということもあり、姉家族とも連絡を取り合い、10年ぶりに身内全員が揃う賑やかな正月を故郷で迎えることができました。家族揃って見た紅白歌合戦を通して、改めて故郷の大切さ、家族の絆を再確認する事ができました。

まだ、不自由な避難生活を送っている人たちが、たくさんいます。どんなに辛くても、故郷を愛する気持ちが必ず復興につながると信じています。

当支店も震災以降、他支店からの応援社員及び作業員の協力をうけ、応急復旧から本復旧へと全力を尽くし取り組んでいます。

会員の皆様方と共に協力し合い、1日でも早い復興に取り組んで参りたいと思います。

今年も、どうぞ御指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



編集後記

道建協とうほく No. 47 担当

小野 裕 幸 ((株)NIPPO 東北支店)

宮 本 憲 治 (日本道路(株) 東北支店)

東日本大震災で被災されました方々には、心からお見舞い申し上げます。
平成23年度最後の（No. 47号道建協とうほく）発刊となります。
寄稿いただきました皆さま、ご協力誠にありがとうございます。

今回の編集担当は、私と宮本氏です。宮本氏とはなぜか馬が合います。
馬が合うのはいくつかの共通点があるからだとは思っています。
年齢が同じであること、生まれ育った環境が東松島市と石巻市と場所は違いますが
小さな漁村であったこと（東日本大震災では、ともに実家が津波で全壊）
また、高校時代にはオートバイで通学していたことなどです。
お酒を飲んだときなど、昔話などで盛り上がってしまいます。
趣味にも共通点が多く、昨年秋には、共通の趣味である鉄馬（オートバイ）にまた
がり、銀山温泉と世界遺産の中尊寺と駆け回ってきました。
今後、被災地の早期復興が進み、鉄馬で駆け回る日を心待ちにしています。

がんばろう！東北



鉄馬にまたがる宮本氏



毛越寺駐車場にて(左端が筆者の鉄馬)